

令和元年度事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）
及び財産目録並びに附属明細書について

令和元年度 事業報告

令和元年度の世界情勢は、米中貿易摩擦の激化から始まり、香港の大規模なデモ、冷え切った日韓関係等、観光にとってマイナス面があった一方、国内においては、改元にともない伊勢神宮が注目されるとともに、ゴールデンウィークが十連休になったこと等、プラス面もありました。しかしながら、中国の春節の頃から新型コロナウイルス感染症が世界に拡大し、人々の日常生活や行動が規制され、経済面でも大きな支障をきたし、特に観光面においては深刻なダメージを受け、今なお厳しい状態が続いております。

当連盟における令和元年度の事業としては、DMO法人であることを最大限に活用した取組に注力しました。観光庁の「世界水準のDMO形成促進事業」を活用し、日本在住の外国人4名（ライター3名、フォトグラファー1名）を登用することで、公式多言語サイト内にネイティブ目線のコンテンツを充実するとともに、中部運輸局事業である「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」に連携DMOという立場で積極的に参画することで、新たなインバウンド向けコンテンツを造成しました。

インバウンド向けの取組としては、三重県受託事業である「三重県全県DMO推進事業」により公式サイトの多言語化を進め、英語・繁体字に続き、令和元年度はタイ語・簡体字・韓国語のサイトを制作し、合計5言語にて海外向け情報発信に取り組んでいます。

国内向けの情報発信としては、当連盟の強みであるデジタルを活用した情報発信に引き続き重点的に取り組むことにより、公式サイト「観光三重」の訪問者数が初めて一千万人の大台を突破するとともに、「2019年都道府県公式観光情報サイト閲覧者数ランキング」のスマートフォン部門で全国1位になることができました。

また、公式SNSでの発信回数を増やすとともに、フォロワーを獲得する取組にも注力した結果、メールマガジンの読者数を合わせて11万人以上のファンに向けて情報発信できるようになりました。

さらに新たな取組として、ニュースアプリ「スマートニュース」と連携し、観光情報を積極的に検索しない方々へ三重の観光情報を届けることのできる仕組みを構築しました。

従来からの取組としては、季刊誌「観光三重」の発行、ガイドブックの刷新に加え、大都市圏への広報活動、ラジオやテレビを活用したイベント情報の発信に取り組むと共に、事業企画・宣伝委員会において、観光宣伝用動画「見栄サミット」を制作しました。

現在、新型コロナウイルス感染症による影響で、三重県の観光は瀕死の状態です。観光物産のネット販売促進やオンライン研修のサポートなど、今できる支援策に取り組むとともに、アフターコロナに向け、県や各種観光関係団体と連携し、観光客誘致に更に注力することで、当連盟はこれからも会員の皆様に寄り添い、信頼される組織づくりをめざしてまいります。

○目標数値（K P I）進捗状況

項 目	平成30年度 実績	令和元年度		
		目標数値	実績	目標達成率
1. 旅行消費額（暦年）	5,338億円 (平成30年)	5,000億円 (令和元年)	5,564億円	111.3%
2. 延べ宿泊者数（暦年）	890万人 (平成30年)	1,000万人 (令和元年)	880万人 (令和元年速報値)	88.0%
3. 来訪者満足度	29.9%	25.5%	38.5%	151.0%
4. リピーター率	92.7%	88.0%	88.8%	100.9%
5. 外国人延べ宿泊者数 （暦年）	340,580人 (平成30年)	450,000人 (令和元年)	380,870人 (令和元年速報値)	84.6%
6. 再来訪意向	42.0%	43.0%	39.2%	91.2%
7. 公式サイト アクセス数	18,043,988PV	18,400,000PV	19,689,957PV	107.0%
8. SNSファン数 (Facebook、Instagram、Twitter、LINE)	62,896人	70,000人	88,133人	125.9%
9. 地域DMO等 事業者支援件数	28件	30件	30件	100.0%
10. 宿泊予約金額 (宿の予約サイト経由)	4,090万円	4,000万円	3,070万円	76.8%
11. 広告収入額	1,196万円	900万円	1,188万円	132.0%

※ 1～9は、日本版DMO形成・確立計画にも記載

※「3. 来訪者満足度」は、三重県「観光客実態調査」の「総合満足度」の項目における「大変満足」の数値

※「4. リピーター率」は、三重県「観光客実態調査」の「来訪回数」の項目における「県外客の来訪回数が2回目以上」の数値

※「6. 再来訪意向」は、三重県「観光客実態調査」の「再来訪意向」の項目における「大変そう思う」の数値

1. 観光情報の収集発信

(1) 観光情報提供事業 (18,081千円)

① 公式サイト運営管理

公式サイト「観光三重」による観光情報提供を実施。

○主な更新内容

- ・観光マーケティングコンサルティング事業者を交えたWeb戦略会議を隔月で実施し、特集コンテンツや取材レポート等を企画し、旬の情報等を随時提供。
- ・アクセスが多いイベント、スポットの内容を随時更新。
- ・フォトコンテストなど参加型コンテンツを実施。

○アクセス件数

- ・ページビュー 総数 19,689,957PV (対前年比 109.1% + 1,645,969PV)
- ・訪問者数 総数 10,376,645人 (対前年比 119.5% + 1,690,326人)

「2019年観光関連サイト閲覧者数ランキング」(公益社団法人日本観光振興協会調べ)

○都道府県公式観光情報サイト

スマートフォンからの閲覧者数で**全国1位**、PCからの閲覧者数で**全国4位**

○スマートニュースとの連携

日本最大のスマートフォン・タブレット向けニュースアプリ「スマートニュース」と連携し、公式サイト「観光三重」の記事をスマートニュースの「三重県チャンネル」の「三重県公式」枠に掲載することで、三重県の観光情報をより多くの方々に届ける仕組みを全国で2番目に構築。

- ・スマートニュースアプリでの記事閲覧回数：124,875回

○アクセス解析データの提供 (年4回)

- ・アクセス解析データ等をニュースレターとして会員に提供。

○観光情報発信研修会

- ・観光情報発信初任者を対象とした「観光三重」CMSの操作研修会を実施。
(6月25日：津会場、6月26日：伊勢会場)
- ・各市町観光課の情報発信担当者を対象とした座談会形式の研修を実施。(6月13日)

○広告収入

- ・バナー広告 14件
- ・PR広告 21件 [松阪市、北伊勢広域観光推進協議会、ロサガーデン、孫太郎オートキャンプ、熊野市、志摩スペイン村、亀山市×2、南伊勢町観光協会、明和町、志摩市、大台町観光協会、南三重豊かな自然を活かしたアウトドアスポーツまるごとPR事業実行委員会、NEMU RESORT、鳥羽国際ホテル、紀宝町×3、元祖肉の水炊きむかい、赤塚植物園、亀山市観光協会]

② 公式SNS・メールマガジン運営管理

各種SNSとメールマガジンを活用し、SNSの特性に合わせた観光情報を発信。

SNSの種別	平成30年度 〔実績〕	令和元年度 〔目標〕	令和元年度 〔実績〕	投稿頻度
Facebook（ファン数）	25,055人	26,000人	28,135人	1回／日
Twitter（フォロワー数）	15,749人	18,000人	24,569人	3～10回／日
Instagram（フォロワー数）	16,140人	20,000人	22,618人	数回／週
LINE（友だち数）	5,952人	6,000人	12,811人	1～2回／週
YouTube（チャンネル登録者数）	2,271人	—	7,922人	不定期
メールマガジン（購読者数）	18,933人	—	20,929人	1回／月
合計	84,100人	(70,000人)	116,984人	

③ 観光案内

電話、窓口、メール等での観光案内や観光資料等の提供を実施。

- ・観光案内件数 2,903件（対前年比 38.2%）

④ みえ食旅パスポート運営管理事業（県受託事業）

「みえ食旅パスポート」事務局として、平成28年6月30日から平成31年3月31日まで実施した「みえ食旅パスポート」事業について、平成30年度下期分応募者へのパスポート返送及び抽選によるプレゼント配送などを実施。

- ・応募への「みえ食旅パスポート」の返送 5,389冊
- ・みえ観光の産業化推進委員会より10,811名分の有効データを預かり抽選を行い、当選者合計377名の方にプレゼント賞品を配送。

⑤ 三重県版観光スマートサイクル確立事業にかかる観光キャンペーン事業運営・利用促進事業（県受託事業）

国内及び国外の本県への観光旅行者に楽しんでもらいながらデータを収集する仕組みとして、データに基づき、より戦略的な観光マーケティング活動につなげるPDCAサイクルを確立する「三重県版観光客アンケートシステム」事業（スマホでみえ得キャンペーン）について、事業の運営及び利用促進のための取組を展開。

- ・スマホでみえ得キャンペーン公式サイト制作
- ・問い合わせ窓口対応
- ・インターネット広告を活用したキャンペーンプロモーションを実施

(2) 観光情報提供強化事業 (21,516千円)

① 季刊観光情報紙「観光三重」の発行

季節ごとの県内の観光情報の提供を実施。

- ・作成部数：年4回 夏号 23万部発行、秋号・冬号・春号 各22万部発行
- ・配布先：会員・主要駅・サービスエリア等 約700件
- ・発行時期：夏号5月、秋号8月、冬号11月、春号2月

- ・季刊紙による広告収入：29件
- ・デジタルブックを作成し、公式サイト「観光三重」へ掲載

② 「三重の観光ガイドブック」の改訂

会員を中心に県内の主な観光施設、宿泊施設、グルメ、お土産等を紹介。観光施設、宿泊施設の改訂を実施。

(3) 広域観光事業 (959千円)

① 関西広域連携（日本観光振興協会関西支部主催）

日本観光振興協会の広域観光振興事業を活用し、観光PRを実施。

（参加団体：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の7県の観光団体（観光連盟等）が連携し実施）

- ・ほんまにええとこ関西 観光展（9月27日～29日：JR大阪駅）
実施概要：パンフレット配布・PR
- ・ウエルカム関西ガイドマップ 日本語版増刷：3,000部、英語版増刷：3,500部

② 中部広域連携（一般社団法人中央日本総合観光機構等）

フォーラム等への参加による情報収集等を実施。

- ・中部広域観光フォーラム東京（11月19日：東京都）

2. 誘致拡大のための広報宣伝

(1) 観光宣伝事業 (2,309千円)

① 大都市圏会員連携支援

三重県観光誘致推進協議会（三重美し会）や三重県観光関西協議会（三重路会）が実施する、旅行エージェントや関係機関等へのキャラバンセールス等に参加。

- ・関空旅博（5月18日～19日：関西空港）〔三重路会・県関西事務所〕
- ・北海道キャラバンセールス（9月10日～13日）〔三重美し会〕
- ・北関東キャラバンセールス（12月3日～6日）〔三重美し会〕

② F1日本GP地域活性化協議会への参画

F1日本グランプリ等において観光PRを実施。（10月11日、13日）

(2) 協働宣伝事業 (5,453千円)

① ラジオ・テレビ番組等でのPR

ラジオ・テレビ・フリーペーパーを活用し、旬の観光情報・イベント情報を発信。

○テレビ

- ・三重テレビ「三重県応援団」（毎週火曜日）
※「三重の魅力紹介」コーナーにて、月に数回、5分程度で観光情報を紹介。
- ・NHK津放送局「ちょこっと！みえ」（毎週金曜日）
※「お出かけ情報」のコーナーにて、週末のイベント4本を紹介。

○ラジオ

- ・岐阜放送「旬体験！三重県お出かけ情報」（毎週金曜日放送）
- ・FM三重「ウィークエンドパレット」（毎週金曜日放送：月末1回）
- ・FM鈴鹿「土日どこ行く」（毎週金曜日放送）
※滋賀（大津、東近江）、福井（敦賀）、兵庫（神戸）のミニFM局でも放送

○フリーペーパー

- ・「みえなびプラス」（隔月刊）

② 事業企画・宣伝委員会による事業展開

7月17日の第1回会議にて、「観光PR動画制作事業」の実施を決定。企画提案コンペの結果、「見栄サミット」動画を5本制作。

③ メディアに対する恒常的な情報発信

メディア向けメールマガジン「三重県観光連盟NEWS」の配信

- ・登録者数 1,286名（前年比：+24名）

3. 観光産業及び観光文化の振興

観光物産連携事業（976千円）

県内外で開催される物産展（協同組合三重県物産振興会）と連携した観光キャンペーンを実施。

三重のうまいもの市	5月	伊勢丹相模原店(神奈川県)
三重・愛知物産展	7月	(株)丸広百貨店川越本店(埼玉県)
三重・和歌山・愛知物産展	9月	宮崎山形屋
三重・和歌山・愛知物産展	10月	新潟三越
第63回旬味まるごと三重展	11月	日本橋三越本店(東京都)
三重のうまいもの市	11月	仙台三越
三重の物産展	12月	中合 福島店
第18回ふるさと三重物産展	1月	津松菱
三重のうまいもの市	1月	伊勢丹立川店(東京都)
三重の物産展	1月	(株)八木橋(埼玉県)
第20回三重県の物産展	2月	うすい百貨店(福島県)
第9回三重・和歌山・奈良の物産展	2月	(株)山形屋(鹿児島県)

4. 観光基盤整備（21,943千円）

（1）観光基盤整備事業

① 会員研修会

- ・演題：『やさしい日本語のインパクト』
- ・実施日：令和元年6月21日

- ・講師：やさしい日本語ツーリズム研究会 事務局長 吉開 章 氏
- ・参加者：49名

② 地域懇談会事業

観光連盟の事業運営に関しての会員からの意見や、会員相互の情報交換・意見交換・ネットワーク強化のため地域懇談会を、県内2地域で開催。

(津会場：11月26日、伊勢会場：12月2日)

③ 会員向け情報の提供（メール通信）

電子メールによるメールマガジン形式で、行政情報、市場動向情報、組織内情報等を会員向けに配信。（毎月10日前後）

④ 観光事業振興功労表彰

観光事業の発展、観光サービスの質的向上に資することを目的に、三重県の観光事業振興等の分野において貢献し、観光客の誘致等に寄与した4名の方を表彰。

⑤ 県内DMO担当者会議

三重県内のDMO、DMO候補法人等における事業活動内容や課題についての意見交換と、近畿大学の高橋教授を講師とした勉強会を兼ねた担当者会議を、12月6日に開催。（日本観光振興協会「人材育成支援事業」を活用）

(2) 観光ボランティアガイド事業

ボランティアガイド組織の基盤強化を図るため、三重県と共催して研修会や意見交換会等を実施。

○代表者会議

令和元年7月18日に三重県教育文化会館（津市）にて実施。

(29団体 78名参加)

○全体研修会

令和元年11月28日にハイトピア伊賀（伊賀市）にて実施。

○その他

- ・ガイド養成講座に対する支援：3団体
- ・公式サイト「観光三重」での観光ガイド活動団体紹介ページの情報更新
- ・公式サイト「観光三重」でのガイドPR強化に伴う機能追加

(3) 全県DMO機能に基づく取組

全県DMOとしての体制を整備していくための取組を実施。

① 多様な関係者とのネットワークづくり

多様な関係者とのネットワークづくりを行うため、各種会議やセミナーに参加。

② 専門人材育成

DMOにおける専門人材としてスキルアップを図るため、観光連盟職員がデジタルマーケティング研修や各種セミナー、旅行展等に参加。

③ 訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業への参画

欧米豪市場を中心とした、海外旅行には頻繁に行くが日本を旅行先として認知・意識していない層をターゲットとした国による情報発信「Enjoy my Japan グローバルキャンペーン」に活用できる新たな滞在型コンテンツ等を、特に地方部をはじめとした全国各地域に創出する観光庁事業「訪日グローバルキャンペーンに対応したコンテンツ造成事業」について、中部運輸局の連携DMOという立場で協働して実施。

(事業主体：中部運輸局)

【連携DMOとして参画】

- ・ Trail Run Tourismコンテンツ造成事業 (9,149千円)
- ・ 伊勢志摩の海女文化に触れるリアルな体験型コンテンツの造成事業 (10,302千円)
- ・ 熊野古道を活用したコンテンツ造成事業 (5,000千円)

【関係機関として参画】

- ・ 宮川と森林の町大台の『japan water』コンテンツ造成 (4,246千円)
- ・ 伊勢志摩120%サイクリングツアー造成事業 (7,000千円)

(4) 三重県全県DMO推進業務 (県受託事業)

観光連盟が全県DMOとして「地域DMO等観光ビジネスを行う主体の活動をサポートする役割」を担い、「マーケティングデータの分析・提供機能」、「広域プロモーション機能」を発揮するための事業を展開。

① マーケティングデータの収集・提供事業

地域DMO等観光関連事業者が必要とするマーケティングデータを収集し、観光三重CMSを通じて提供。

② 公式サイトでのOne to Oneマーケティング事業

公式サイト「観光三重」のアクセスログを活用し、サイト閲覧者一人ひとりに適した表示や案内を行うことができるパーソナライズツール「TETORI」を活用し、一人ひとりに最適化する「One to Oneマーケティング」を実施。

③ インバウンドデータ収集・分析・活用事業

インバウンド向けプラットフォーム構築事業にて制作した多言語サイトについて、インターネット広告を活用し、ターゲット国における三重のコンテンツへの興味関心度合いを分析。

④ デジタルマーケティング研修事業

デジタルマーケティングの基本を学ぶ研修 (11月12日) 及びGoogleマイビジネスの活用方法を学ぶ研修 (2月26日) を実施。

⑤ インバウンド向けプラットフォーム構築事業

インバウンドに対応した三重県の観光コンテンツを一元的に発信・販売するプラットフォームを構築するため、既に構築した英語及び繁体字に加え、タイ語、簡体字、韓国語による観光情報発信及び宿泊予約機能を備えたWebサイトを制作。

また、ネイティブライターを活用し、三重の魅力をネイティブ目線で発信するコンテンツを追加。（タイ語：30記事、英語・繁体字：各10記事、簡体字・韓国語：各5記事）

（5）農山漁村に人を呼び込むSNS活用研修事業（県受託事業）

農山漁村で観光に関わる団体を対象として、集客につながるSNS活用のテクニックや手軽にできる活用術などレベル別に研修会を開催。

（初級編：12月10日、中・上級編：2月13日）

5. 外客誘致促進事業

国際観光事業（13,312千円）

インバウンド誘客につながる基盤を整備するため、多言語サイトのコンテンツを充実し、運営管理を行うとともに、SNSを活用して海外への情報発信を強化。

① SNSを活用したFIT向け情報発信事業（県受託事業）

SNSによる情報収集の割合が高く、比率が高まっている外国人個人旅行者（FIT）をターゲットに、フェイスブック（7言語）、微博（簡体字）、インスタグラム（3言語）を活用して三重県の観光資源の魅力を発信。（フェイスブック、微博については週1回、インスタグラムについては週1～2回投稿）

② 多言語サイトの運営管理

多言語サイト（5言語）の運営管理を行うとともに、アクセス解析を実施。

○アクセス件数

【英語】※平成30年10月公開

- ・ ページビュー 総数 105,323 PV（対前年比 154.9% + 37,326 PV）
- ・ 訪問者数 総数 67,140 人（対前年比 122.8% + 12,483 人）

【繁体字】※平成30年3月公開

- ・ ページビュー 総数 87,490 PV（対前年比 143.7% + 26,598 PV）
- ・ 訪問者数 総数 49,702 人（対前年比 130.1% + 11,483 人）

【簡体字】※令和元年12月公開

- ・ ページビュー 総数 52,275 PV
- ・ 訪問者数 総数 38,995 人

【韓国語】※令和元年12月公開

- ・ ページビュー 総数 30,666 PV
- ・ 訪問者数 総数 23,082 人

【タイ語】※令和元年12月公開

- ・ ページビュー 総数 21,974 PV
- ・ 訪問者数 総数 13,551 人

③ 世界水準のDMO形成促進事業（国補助事業）

観光庁の「世界水準のDMO形成促進事業」における「外部専門人材の登用」メニューを活用し、インバウンドプロモーションにかかる外部専門人材として日本在住の外国人ライター及びフォトグラファーを登用し、三重の魅力外国人目線で発信するためのコンテンツを充実する。

- ・登用する外部専門人材：アメリカ人ライター、台湾人ライター、中国人ライター、イギリス人フォトグラファー（計4名）

また、同事業における「中核人材の育成」メニューを活用し、三重県観光連盟職員による先進的な海外地域（シンガポール）視察を実施。（9月30日～10月2日）

④ 広域周遊観光促進のための専門家派遣事業（観光庁事業）

地方公共団体及びDMOへインバウンド観光に関する専門家を派遣し、訪日外国人旅行者の誘客に向けた地域の取組促進を支援する観光庁事業「広域周遊観光促進のための専門家派遣事業」を活用し、専門家から助言・指導を受ける機会を確保。

（専門家派遣に要する交通費・謝金は観光庁が負担）

- ・専門家：近畿大学 高橋教授（派遣日：9月11日）

6. 観光連盟の運営

（1）総会

①定時総会

- ・日時：令和元年6月21日（金）
- ・場所：ホテルプラザ洞津（津市新町）
- ・議題：第1号議案「平成30年度事業報告及び計算書類及び附属明細書並びに財産目録について」
第2号議案「役員の選任（案）について」

（2）理事会

①第1回理事会

- ・日時：令和元年5月23日（木）
- ・場所：都シティ津（津市大門）
- ・議題：第1号議案「平成30年度事業報告、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録について」
第2号議案「役員の選任（案）について」
第3号議案「事業企画・宣伝委員会委員の選任（案）について」
第4号議案「令和元年度定時総会の招集の決定（案）について」

②第2回理事会

- ・日時：令和元年10月21日（月）
- ・場所：ホテルグリーンパーク津（津市羽所町）
- ・議題：第1号議案「令和元年度収支補正予算（案）について」

③第3回理事会（みなし決議）

- ・決議日　： 令和2年3月27日（金）
- ・提案事項： （1）令和元年度第2次収支補正予算（案）について
（2）令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

7. 会員の状況

入会：23会員　退会：8会員
令和2年3月31日現在　会員数：296会員

8. 事業報告の附属明細書

事業報告の附属明細書となる「事業報告の内容を補足する重要な事項」は無し。